

No. 2864

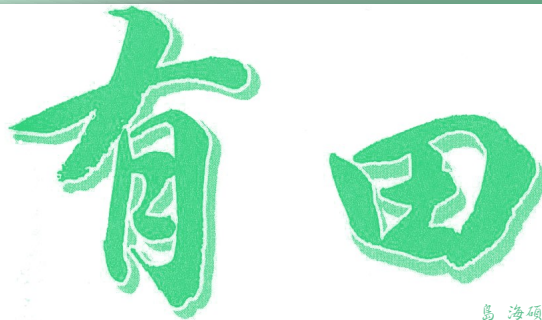
2017-2018年度

会 長 成川 守彦

幹 事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：嶋田(崇)委員



第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

ロータリー
変化をもたらす

本日のプログラム

平成30年3月29日 第2865回

- ・会員卓話：木本 隆昭 君
「趣味について」
- ・ソング：「日も風も星も」

前回の報告（第2864回例会）

開催日 平成30年3月15日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

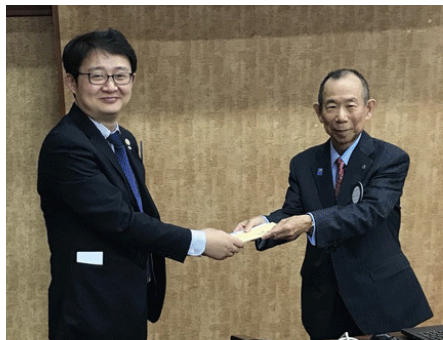
ゲスト・ビジターの紹介

(上野山(捷)親睦活動委員長)

ゲスト：寺下 卓 様(海南東RC)

米山奨学生：董 涛 君

米山奨学金授与

3月の米山奨学
金が成川(守)
会長より授与さ
れました。

米山奨学生卒業の挨拶

(米山奨学生 董涛 君)



皆様今日は！

2016年の4月のオリエンテーションで自分の所属クラブが有田RCだと知りました。その時有田について全く印象がないので、初めて出会った橋本さんに、「貴方は有田さんですか。」と聞きました。この二年間、橋本さんに連

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知らう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成30年4月5日 第2866回

- ・会員卓話：田端 正巳 君
「金融マンとして 35年間を振り返って」
- ・ソング：「君が代」「我等の生業」



れられて、東亜ドラムの工場、嶋治水産、ふみこ農園、岩本さんの箕嶋神社、上野山英樹さんのみかん農園、松村さんのシューズの店、成川歯科医院、なかもと整形外科、おおち眼科、岩橋さんの天満木材、石垣洋介さんの鉄工所、井上さんの天乙商店、石垣泰伸さんのブドウ畑、上野山栄作さんの葬儀社、児島さんの浄満寺などの職場を拝見いたしました。そして有田に愛情ができて、誇りを持って、私は有田のことが詳しいとたくさんの人にアピールできるようになりました。

また皆様と一緒に文成中学校、箕島中学校、初島などの奉仕活動に参加し、家族の親睦旅行、新年会、卓球、飲み会など、数え切れない楽しい思い出がいっぱいありました。

この二年間、皆様の奨学金のおかげで安定した生活ができ、安心して研究ができました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。今日は米山奨学生として有田で最後の例会ですが、これからは社会人として、一日でもはやく皆様のような立派な人に成長しようと心掛けます。またいつか皆様と会うために有田に戻ってきます。

皆様、今までいろいろお世話になりました。本当にありがとうございました！

会長より贈る言葉

(成川(守)会長)

董涛君、米山記念奨学生の終了、おめでとうございす！寂しいことですが、貴方をお送りすることは、嬉しいことです。

大阪府立大学の博士課程3年生として、大形 徹 人間社会学部教授のもとで人間科学を専攻され、研究テーマは郭璞(カクハク)と山海経(センガイキョウ)でした。大形研究室では、大形教授の信頼できる右腕として研究をサポートされたと聞いています。

貴方は、礼儀正しく、人との接し方が丁寧で、人の話を



丁寧に聞き自分の考えを分かりやすく伝えます。又、知識が豊富で、中国や日本の歴史に始まって、現在の社会・政治情勢にも精通しておられます。

さらに、卓話が上手で、2640地区の中では群を抜いており、地区内外のクラブからの活発な卓話リクエストがあり、奨学生期間の2年間で12回も卓話をされました。

当有田RCの地域活性化奉仕活動において、

①8月のロータリーデーの「地ノ島クリーンアップ作戦」では2640地区米山奨学生も参加した奉仕活動を成功させ、SNSでの海外への魅力発信でも奨学生を取りまとめて事業のFollow-upを行いました。

②2月には、箕島中学校2年生に「文明が流れている」という講義をされました。

有田RCの親睦活動にも、ご家族と一緒に積極的に参加していただきました。地区においては、2640地区の米山奨学生のリーダーとして、地区の奨学生を取りまとめて多くの活動を実施されました。

2年間でしたが、貴方は立派に米山記念奨学生としての任務を果たされました。今後は、できれば米山親善大使として、日本全国のロータリアン・奨学生・学友の懸け橋となって活躍してくれますことを願っています。お元気で、活躍してください。

最後になりましたが、カウンセラーの橋本君、ありがとうございました。

カウンセラーから贈る言葉

(橋本拓也カウンセラー)

先ほど董涛君が話していましたが、私も2年前に董涛君のカウンセラーを引き受けた時、どんな学生かなと期待と不安でいっぱいであったのを思い出します。カウンセラー・奨学生オリエンテーションで董涛君と初めて会って、20前後の若者ではなく、38歳の学生で、しかも奥さんと子供さんがいることを知り、大丈夫かなと少し不安がよぎりましたが、お世話をするのではなく、大人として社会人の一人として付き合おうと思いました。何をするのが彼にとって一番の経験になるのか考え、地元の有田の事や会員の皆様の事をより深く見て知ってもらえるような活動をと思い、毎月の例会への参加に合わせて、有田の色々なところを



見学したり、クラブ会員への個別訪問で会員が行っている仕事を見学したりしました。董涛君にとって多くの貴重な経験が出来たと思います。

董涛君、2年間ご苦勞様でした。毎月何をしようかと計画をしていたのも、もう来月からその必要もなくなります。2年間長かったようであつという間に過ぎ去ってしまいました。

寂しい思いもしますが、有田での経験をこれからの人生に活かして頂ければ嬉しい限りです。これから歩いていく董涛君の人生が明るく希望に満ちたものであることを祈念いたします。

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君: 寺下君、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。酒井君、ご栄転おめでとう! 益々のご活躍を! 董涛君、お元気で。

橋本君: 寺下様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。董涛君、2年間ありがとう。

寺下卓様(海南東RC): (ニコニコ箱へ献金頂きました)

松村君: 寺下卓様、卓話楽しみにしています。董涛君、卒業おめでとうございます。テレビを見て片脚、片腕のアルペンスキーヤーに感激しました。

上野山(栄)君: 海南東RC、寺下様、ようこそ有田RCへ。国際奉仕の勉強させて頂きます。

酒井君: 今回の定期異動でついに転勤となってしまいました。皆様には5年間色々とお教えいただき本当にありがとうございました。

児嶋君: 海南東RCの寺下卓様、卓話よろしくお願ひ致します。

上野山(捷)君: 寺下卓様、本日の卓話、ご苦勞さまです。

井上君: 寺下様、卓話楽しみです。

嶋田(ひ)君: 寺下卓様、本日は有田RCへお越し戴き有難うございます。卓話宜しくお願ひ致します。

岩本君: 他の用事の為、早退させて頂きます。

石垣(泰)君: 寺下卓様、本日の卓話楽しみにしております。

上野山(英)君: 海南東RC寺下さん、本日卓話のためご来訪有難うございます。小生、所用のため中座させて頂きますので、お許しください。

橋爪(誠)君: 寺下さん、ようこそ有田RCへ。本日、卓話よろしくお願ひいたします。石垣泰伸さん、先日はありがとうございました。

脇村君: 寺下さん、いつも地区の雑誌・公共イメージ委員会ではお世話になっています。次年度もよろしくお願ひします。

児島君: 寺下さん、有田へようこそ。お話楽しみです。

川口君: 寺下卓様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

嶋田(崇)君: 寺下さん、卓話楽しみです。

木本君: 寺下様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

中元君: 寺下様、ようこそ有田RCへ。董涛君、米山奨学会の御卒業おめでとうございます。橋本カウンセラー、2年間ありがとうございました。

出席報告 (橋爪(正)例会運営委員)

本日の会員数32名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数27名
 (出席規定免除会員9名)
 84. 38%
 3/1 87. 50%
 MU: 上野山(栄)

会長の時間 (成川(守)会長)

暖かくなりました。桜の開花もうすぐです。4月の京都への花見親睦旅行のご参加をよろしく願い申し上げます。

去る3月11日は、2万2千人以上が犠牲になった東日本大震災から7年になりました。住居や道路、鉄道など街の形は整備されつつありますが、人々の暮らしやコミュニティーの立て直しは道半ばです。東京電力福島第一原発事故の傷痕はなお深く、廃炉作業は緒に就いたばかりです。あと何年かかるのでしょうか？

復興庁によると、被災者のための宅地を造る「高台移転」は90%、災害公営住宅は93%が完成したそうです。道も100%近くが復旧、再開しています。防潮堤は計画の92%で着工し、うち半分近くができあがりました。今も約7万3千人が避難生活を送っています。福島県浪江町(なみえまち)の私の同期のガバナーも、3か所ほど転々と避難生活の末、震災の翌年、残念ながら亡くなりました。

7年が経ち、インフラを中心にまちの姿が再興する一方、人口の流出に歯止めがかかっていません。岩手、宮城、福島の3県は震災前と比べて約25万人減少。沿岸部を離れ、別の地で生活を再建する被災者が増えています。観光目的の宿泊者数は3県とも震災前の水準に及んでいません。

原発事故に遭った福島では、4町村で避難指示が一斉に解除され、間もなく1年になりますが、帰還者は少なく、農業産出額も回復していません。避難生活に伴う精神的苦痛に対して支払われてきた賠償は、避難指示がおおむね解除されたとして、3月分で終了するそうです。

また、子どもの甲状腺がんは「100万人に1人か2人」とされていますが、3月5日、東京電力福島第1原発事故の健康影響を調べる福島県の「県民健康調査」検討委員会は、県内の全ての子ども約38万人が対象の甲状腺検査では、確定は160人、疑いは36人と報告しました(西日本新聞 2018年03月05日 18時56分)。大変心配なことです。

さて、3月は、ロータリーの「水と衛生月間」です。ご承知のように、3月22日は「世界水の日」です。

2016-2017年度第2660地区松本進也ガバナー月信の3月号から引用させていただきます。



1993年、国際連合総会で3月22日を「世界水の日」(World Day for Water、もしくは World Water Day)とすることが決議されました。国連は加盟国に対して、この日に各国で活動を企画するよう薦めており、水や水資源の持続可能な開発に関連する取り組みを行う国連機関も様々な企画を催しています。

日本では2014年3月21日に東京・国連大学で、水に係る国連機関の集まりである国連水関連機関調整委員会主催の「2014年世界水の日記念式典『水とエネルギーのつながり』」が開催されました。国連機関主催の世界水の日主要記念式典としては、日本で初めての開催となりました。当時の太田昭宏国土交通大臣によるご講演が印象的でしたのでご紹介申し上げます。

「水災害や地震などの自然災害が頻発する災害大国である我が国では、人の力で制御することのできない自然の力を目の当たりにして、「無常」や「常住」という思想が生まれてきました。

「無常」とは、この世の一切のものは生成と消滅を繰り返し、絶えず移り変わっていくことを指します。対して「常住」とは、変化しないで常に存在し永遠不滅であることを指します。人は、毎日の暮らしや将来の姿を考える際には、「無常」を否定し、「常住」を追い求めるものでありますが、我々日本人は「無常」の中に「常住」を実現すること、つまり「無常」と「常住」の交差点を模索することで、豊かな暮らしへの道を歩んできました。よって、我が国では洪水や渇水の被害対策として、河川を制御しようとするのではなく、河川をなだめ、自然と折り合い、自然との共生を考えながら様々な形で技術を獲得してきました。

例えば、今日の東京の繁栄の基礎を築いた「利根川の東遷」があります。これは、氾濫を繰り返した利根川を60年かけて東京を迂回するように東側に付け替えることで「災い」を「恵み」に転じ、新田開発や都市的土地利用を可能としました。

また、新たな水需要を満たすために、ダム等の水資源開発施設の整備が進められました。ダムの水力発電は、戦後の復興期のエネルギー需要を支え、現在でも重要なクリーンエネルギーです。」との言でありました。

古来、農耕民族であった日本人ならではの「共生」の思想、そしてその思想に基づく水資源の運用が、本日の日本の繁栄をもたらし、現在では日本は上下水道とも非常に恵まれております。我が国が永年培ってきたこの水思想に基づく高い技術は世界の水に関する取り組みにおいて、模範的な成功事例となることでしょう。

皆様、いかが感じますか？

先週も話しましたが、世界各地のロータリークラブは、水と衛生についての活動に取り組んでいます。人びとに安全な飲料水、適切な衛生環境、十分な食糧、エネルギーサービスを提供するために活動しようと国連が呼びかけています。RIのHP:「ロータリーショーケース」では、水不足、水確保を妨げる諸問題、衛生問題に取り組むクラブのプロジェクトをご覧いただけます。

○英国の2つのロータリークラブは、マダガスカルクラブと協力し、ロータリー補助金を申請して、アナラマンガ

地域の村にきれいな水を提供するプロジェクトを行っています。地元の人とも協力し、浄水施設を設置・維持するための研修も実施しました。



○ニカラグアで水を介して伝染する病気を減らすため、米国オレゴン州のロータリアンがニカラグアのロータリアンと手を組み、浄水フィルターを設置しました。さらに各家庭を対象に衛生トレーニングを行い、浄水を使うことの重要性や衛生習慣について説明しました。

○エジプトのヘリオポリス・ロータリークラブは、アルアドレー(Al Adly)村の住民3,000人に浄水設備を提供するため、ロータリー補助金を一緒に申請する協同提唱者を探しています。



○ウガンダのカヒビ・ロータリークラブは、ビショップ・コンボニ(Bishop Coomboni)大学に浄水システムを導入するため、ロータリー補助金の協同提唱者となるクラブや地区を探しています。

○行動グループと協力する: 水と衛生に関するロータリアン行動グループ(WSRAG)に連絡を取って、進行中の水プロジェクトについて尋ねたり、プロジェクト実施のための技術ガイド(英語、スペイン語、ポルトガル語)を取り寄せることができます。



今日は、海南東RCの寺下卓氏にお越しいただき、海南東RCが長年取り組んでおられる「フィリピンセブ島での支援活動」について、お話をいただきます。今年度も8日からフィリピンへ行かれ、帰ってきたばかりです。ご苦労様でした。寺下君、よろしく願い申し上げます。

幹事報告 (橋本幹事)

1. 他クラブから例会変更のお知らせが届いています。

退会の挨拶

会員 酒井 隆正 君



酒井君、5年間ありがとうございました！益々のご活躍を期待しています。

皆様へ

このたびの会社の人事異動で転勤となりました。和歌山に赴任して5年あっという間でした。その間有田ロータリークラブに所属させていただきいろんなことを学ばせていただきました。先日も妻と会話をしておりまして。入会してすぐの頃に中元先生のご自宅に若手会員夫婦ということでご招待いただいたことで妻もいろんな行事に参加

しやすくなったと申しておりました。いろいろとお気遣いいただき感謝いたします。

4月からは東京本社で内部の管理部門となります。30年営業部門の仕事一筋でしたので務まるか不安もありますが精一杯頑張っていきたいと思います。

皆様におかれましては東京にお越しの際、是非お時間ありましたら新宿にお立ち寄りいただければ、本社に常設の東郷青児美術館にご案内させていただきます。

5年間本当にありがとうございました。

委員会報告

*R広報委員会(嶋田(崇)委員)

ガバナー月信No.9を配布しました。

*社会・青少年奉仕委員会(井上委員長)

本日、箕島中学校で職業紹介事業を開催します。講師として、橋爪(誠)君、中村君、應地君、上野山(栄)君、脇村君の5名を派遣。

卓 話

「フィリピン・セブ島周辺の離島の水支援」

寺下 卓 様(海南東ロータリークラブ)



私達は、2018年3月8日から12日まで、フィリピン セブ島を訪問しました。会員、家族を含め計10名で、関西空港からセブ・マクタン空港への直行便で出発し、姉妹クラブの彰化東南RC(16名)と現地の友好クラブのマンダウエ イーストRC(15名)と合流しました。

視察は、3月9日早朝出発。セブ市の対岸に位置するマクタン島のコルドバ地区から、船(バンカーボート2隻)で約2時間、最初の視察先ボホール島近くのイナバンガ(Inabanga)島へ向かいました。天候も良く、海上は穏やかで快適な航行でした。この辺はアジアでも有数のスキューバダイビングのメッカで、珊瑚礁、コバルトブルー

の海が素晴らしいところです。島に到着すると小船に分乗し、上陸。島には栈橋も無く、リーフに囲まれた浅瀬で、大きな船は近づけません。島には島民5,000人が暮らしおり、大歓迎で迎えてくれました。島の生活は貧しく漁業が中心。周辺の本島からの支援で成り立っています。特に今回の水支援は急務で、雨水と小さな井戸(塩分がある)に頼っているのが現状です。また、医療、衛生の面でも改善が必要です。今回訪れたこの島は、来年の水支援の下見で、丁度、地元ロータリーの支援でトイレ建設を行っていました。



次に訪問した島は、セブ島とボホール島の中間くらいにあるギルトンガ島(Gilutongan)です。一昨年訪問した島で、本年度の支援で本格的に雨水の貯水タンクの設置や各家庭へのポリタンクを寄贈した島です。上陸後、完成した貯水タンク等を視察しました。



フィリピンには約7,000以上の島があり、このような環境の小さな離島は同じような環境です。今回の支援でも感じたことは、私達の長年(今年で友好15周年)パートナーの現地、フィリピン・セブのマンダウエ・イーストRCは、少ないメンバー数の中で、RCC(ロータリー地域社会共同体)や近隣クラブと協力し、地道に支援活動に取り組んでいます。全体から見ると小規模なプロジェクトかも知れませんが、着実に地域に貢献し根付いています。そして、今回出会ったフィリピンの子供たちは、笑顔を絶やさず、たくましく生きている姿が印象的でした。ロータリーが支援するフィリ

ンでの奉仕活動の必要性を改めて再確認し、今後も支援を続けられるよう努力したいと思います。



閉会・点鐘 (成川(守)会長)

箕島中学校 職業紹介事業

橋爪(誠)君(保険代理店)、中村君(内科医)、應地君(眼科医)、上野山(栄)君(葬祭業)、脇村君(石油化学)の5名が講師を務められました。皆さん、おつかれさまでした。

